

東京 PCB 廃棄物処理施設 水熱酸化分解設備の一部配管 における水蒸気噴出による火災報知器作動について

平成 26 年 1 月 10 日（金）午後 7 時 4 分、当社東京 PCB 廃棄物処理施設水熱酸化分解設備において、水蒸気の噴出により火災報知器が作動する事象が発生しましたので、お知らせします。なお、本件事象による PCB の施設外への漏洩はありません。

1. 平成 26 年 1 月 10 日（金）午後 7 時 4 分、当社東京 PCB 廃棄物処理施設の水熱酸化分解設備の配管の一部に不具合が生じて水蒸気が生じ、それに反応して火災報知器が作動しました。
2. 東京事業所では、緊急時対応マニュアルに従って直ちに館内に火災報知器の作動を一斉放送するとともに、消防署に火災報知器の作動を通報しました。また、火災報知器が作動した部屋に設置されている水熱酸化分解設備を緊急停止させました。
3. 今回の不具合後において、建物内の水熱酸化分解設備室内の PCB は検出限界未満でした。また、水熱酸化分解設備室の換気系統には安全のためセーフティネット活性炭処理設備が設けられており、換気系統出口の PCB も検出限界未満であったため、本件事象による PCB の施設外への漏洩はありませんでした。
4. また、消防ご当局の調査により、火災報知器の作動は水蒸気によるものであり、火災ではなかったことが確認されましたものの、緊急車両の出動を仰ぐなど近隣の皆様及び関係行政機関等の皆様にご心配をおかけしましたことを深くお詫び申し上げます。
5. 当社としては、今後、今回の設備の不具合の原因を精査し、必要な改善措置等を確実に講じるなど、今後とも安全な PCB 廃棄物処理を推進してまいります。

<連絡先>

日本環境安全事業株式会社東京事業所

所長 塩飽 晶夫 (TEL 03 - 3599 - 6023)

安全対策課長 池原 公司 (TEL 03 - 3599 - 6873)